

成果の説明書

(氏名) 木下まゆみ	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>◆国内派遣による外部研究機関での研修 お茶の水女子大学研修員として、教育における ICT の利活用に関する研究を行った。授業視察および文献研究により、現在の動向および今後の課題について把握考察し、報告書にまとめる予定である。</p> <p>◆研究・集団討論に関して 科学研究費助成金基盤研究(c)に採択された研究課題<「協同知」の形成における視線の役割——集団討論での聞き手の同期性に注目して>に関して、コロナ禍により新たな動画データの取得が困難なため、文献収集を中心に、発話と身体動作の同期性について研究動向の把握を行った。</p> <p>◆学会参加 日本心理学会、日本学校心理学会</p> <p>◆出版 著書「心と付き合うための心理学」第2版を刊行した。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負 科研費研究期間を延長し、今年度は5年目として、引き続き発話と身体動作の同期性に関する時系列データを分析し、集団討論における深い理解の様相について知見を得る国内派遣で得た知識等を、本学の講義（特に「情報通信技術と教育」）に反映させる。</p>	